

YUKINOSATO TU-SHIN



雪の里通信

vol. 10

2013
02/26
発行

※ 2月3日(日) 雪の里まつり/雪セミナーを開催しました ※

2月3日(日) 雪の里情報館にて「雪の里まつり」を開催しました。

『雪ん子俳句展』表彰式や、各種利用団体と近隣保育園児による発表会、雪中宝探しなど、様々な催し物があり、たくさんの方にご来場いただきました。



玄関前のにぎわい



雪ん子俳句展 入賞者表彰式



千川流友輪会のみなさん



新庄太極拳愛好会のみなさん



新庄保育園のめごたち



平成会さん



展示風景

～雪の里まつりを盛り上げた大きな雪像～

玄関前でお客様を出迎えたのは大きな雪像。

はぐくみ保育園の保護者の方々が、マンガ『ワンピース』、サウザンド・サニー号をもとに製作した、全長10m、高さ3mの大作です。

重機で雪を運搬する作業から始まり、製作期間はなんと1週間。船だけでなく、キャラクターも忠実に再現されています。圧倒されるような大きさと、細部まで丁寧に仕上げられた雪像に、たくさんの方が見入っていました。



はぐくみ保育園のめごとちと保護者の方々
(雪像前)

第 67 回 雪セミナー 『発酵食品』について学ぶ



講演中の小関卓也氏

午後からは第 67 回市民雪セミナーを開催しました。
 山形大学農学部教授、小関卓也氏を講師にお招きし、『見えてきた!健康な食 賢い食～発酵食品をじょうずに取り入れる食生活』と題してご講演いただきました。
 講演後は、発酵食品を日頃から積極的に取り入れている方を代表して、本澤由紀さんより実践例を紹介していただきました。
 日本の食文化に深く根付いた発酵食品について、関心をさらに高めることができました。

第2回 雪ん子供句展

昨年に引き続き、小学3～6年生を対象に「雪」をテーマにした俳句展を開催しました。最上管内の多くの児童の皆さんより秀作が寄せられ、盛大な作品展となりました。ご応募ありがとうございます

審査の結果、日新小学校六年生 大沼佳郁くんが最優秀賞に選ばれました。

『雪降って ほほ笑むぼくと なげく母』

どの作品も子どもらしい感性で「雪」をとらえており、多くの市民の方々が目を細めて鑑賞し、童心にかえっている様子でした。

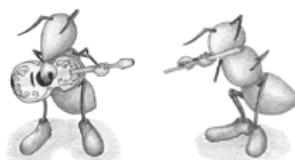
作品は雪の里情報館にて展示いたしますので、是非ご覧ください。

蟻工房展 3月上旬から

舟形町・沢内義明氏による、蟻をモチーフにした人形などの作品展を3月上旬より予定しております。

2月23日からの開催とお知らせしておりましたが、都合により予定を変更させていただきます。

木のぬくもりを感じさせる『蟻』たち、何かを語りかける『蟻』たちを是非ご覧ください。



会議室の貸出料金表

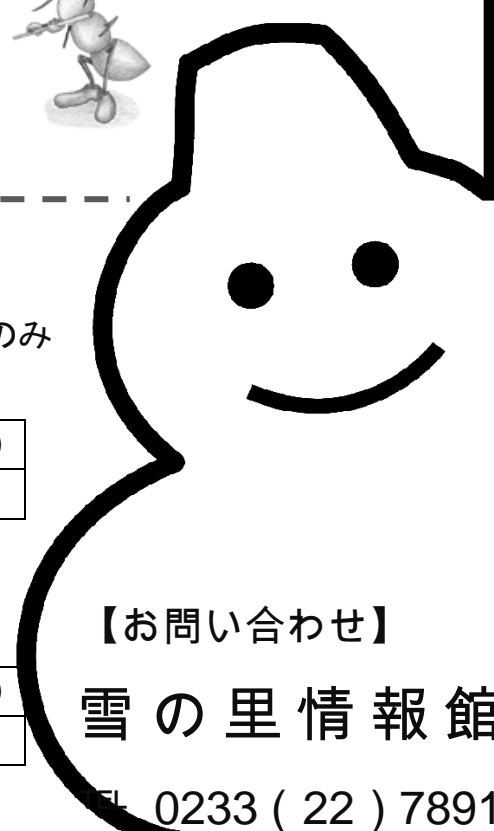
※夜間使用は金曜日のみ

■雪国文化ホールー100人程度の会議・講演会・発表会などで使用

午前(9:00～12:00)	午後(13:00～17:00)	夜間(18:00～22:00)
2,520円	3,360円	3,690円

■情報交流室 } 20人程度の会議・研修などで使用
 ■視聴覚研究室 }

午前(9:00～12:00)	午後(13:00～17:00)	夜間(18:00～22:00)
560円	750円	830円



【お問い合わせ】

雪の里情報館

TEL 0233 (22) 7891

いつもピカピカで気持ちの良い会議ができますよ!

★仮予約は半年前から。3日前まで申請・納金してくださいね。